

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(6月6日～6月12日)

2022年8月11日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●在ベラルーシ・スウェーデン大使館の敷地内に避難していた父子がラトビアに脱出(6/9)

【ルカシェンコ大統領動静】

●「地域レベルでの住民に対する取り組みの方式や形態の刷新」セミナーへの参加

大統領は要旨以下を述べた。

- ・国家を破壊することを目標とする政党とは戦う。
- ・ウクライナ西部が切り取られてしまわないよう、西側諸国と戦うことになるかもしれない。ウクライナ西部はウクライナにとってだけではなく、ベラルーシにとっても重要だからである。
- ・ウクライナの側に立って戦っているベラルーシ人に関し、我々は奴らの顔と氏名を特定しており、間もなく引き立てることになる。

(6月10日 大統領府)

●エリザベス英国女王の誕生日に寄せた英国民に宛てた祝電

大統領は要旨以下を述べた。

- ・ベラルーシと英国を結びつけるものは、平和・安定・持続的な発展の追求。こうした価値観が両国社会で最優先されなければならないと確信。
- ・現在のはかつてなく、国際情勢の緊迫化・食糧危機・民族的不和を許さないという方向性をともに模索するべき時。

(6月11日 大統領府)

【外交】

●アレイク外務第一次官は、イブラヒム・サリム・ムハンマド・アル・ムシャラフ・アラブ首長国連邦(UAE)大使と会談

- ・両国の協力の現状と、その全般的な発展の見通しにつき協議

- ・貿易・投資面での協力強化につき特に協議

(6月6日 外務省)

●キューバ訪問中のシェスタコフ外務次官は、カプリサス・ルイス・キューバ閣僚評議会副議長と会談

- ・両国が伝統的に友好関係にあることを強調
- ・相互に関心がある分野における二国間協力の現状と見通しにつき協議

(6月7日 外務省)

●アムブラゼヴィチ外務次官と謝小用・駐ベラルーシ中国大使の会談

- ・国連その他の国際機関における、ベラルーシと中国の連携にかかる問題を協議。
- ・国際的に取り上げられている広範な問題への両国のアプローチが一致していることを強調。国連において戦略的に相互を支持することを確認。
- ・ベラルーシと中国は、人権というテーマに関する緊密な協力を歓迎。その基本は、多国間二国間のいずれのフォーマットにおいても、内政に干渉しないこと、また各国がそれぞれ独自の発展の路線を求める権利を認めることに基づいている。

(6月9日 外務省)

●「ベラルーシ労働組合連盟(FPB)」(親政権)は国際労働機関(ILO)に対し、欧州連合(EU)による対ベラルーシ制裁を撤廃するよう申し入れ

(6月12日 国営「全国テレビ(ONT)」)

●スイス政府は、欧州連合(EU)による第6次対露・対ベラルーシ制裁への協調を発表

(6月10日 BPN)

●国連人権委員会特別報告者は、ベラルーシ当局に対し、死刑の適用範囲を拡大する法改正を止めるよう呼びかけ

(6月10日 BPN)

●国際労働機関(ILO)規準遵守委員会はベラルーシ当局に対し、労働者の結社の自由の権利を直ちに回復させるよう呼びかけ

(6月12日 ベラルーシ民主労働組合大会、6月13日 BPN)

【内政】

●6月9日現在の政治犯の数は1,239人

(6月9日 人権団体「ヴァスナ(春)」、BPN)

【経済】

●外貨現金による輸出代金受取の一時的な許可(6月7日付閣僚会議(政府)・国立銀行(中央銀行)決定第363/13号)

・ベラルーシの居住者である法人に対し、非居住者である法人や個人事業主から輸出の支払いを外貨現金で受け取ることを許可。

・ベラルーシの銀行口座で決済を行うこと。

・対象通貨はドル、ユーロ、人民元。

・期間は2023年12月31日まで。

・本決定は公表をもって施行。

(6月9日 法律ポータル(我が国でいうインターネット官報に相当))

●政府はミンスク市及び各州に対し、投資計画の延期を勧告

・投資家からの申請に則り、実施期限や条件を最大3年延長すること、投資プロジェクト実施にあたっての土地や建物の使用目的の変更等が勧告されている。

・目的は、機材や建材の調達困難に伴う問題を解決し、企業がリソース配分に余裕を持てるようにし、投資プロジェクトの実施期限や目的を変更できるようにすること。

(6月9日 国営ベルタ通信)

●露「対外経済銀行(VEB)」調査分析研究所による2022年の経済成長の見通し

・対露制裁の影響を最も強く受けるのはロシアとベラルーシ。他のユーラシア経済同盟(EAEU)加盟国や独立国家共同体(CIS)加盟国にも影響あり。

・2022年の国内総生産(GDP)成長率見通しは以下のとおり。

EAEU ▲ 8.6%

CIS ▲ 9.7%

ベラルーシ ▲ 6.4%

ロシア ▲ 10.0%

・EAEU 諸国には、新たな形態の経済やパートナーシップを発展させる潜在力があるものの、そのためには、社会・経済・人的交流・金融等でのさらなる統合深化が必要。

(6月6日 露 RBC、BPN)

【抗議勢力の動き】

●在ベラルーシ・スウェーデン大使館の敷地内に避難していた父子がラトビアに脱出

・ヴィテプスク在住の父子であるヴィタリー・クズネチク及びヴラディスラフ・クズネチク両氏は、2020年にヴィテプスクでの抗議活動に参加したために官憲に追われ、同年9月11日から在ベラルーシ・スウェーデン大使館の敷地内に避難していた。

・2022年6月8日、チハノフスカヤ民主勢力代表は公式 Telegram を通じ、ラトビアで両名と面談した旨発表。

(6月9日 BPN)

【その他】

●欧州高等教育圏(EHEA)は、ロシア・ベラルーシ両国の大学を除名

(6月6日 欧州高等教育圏、BPN)

(了)